（様式2（1））

事業所名　グループホームまほろばの里

作成日：　平成26年 6月13日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者や家族から得た情報や日々の生活の中での気づきについては、記録に残すとともに申し送りノートにも記入するが、情報の一元化が図られているとはいえない。	全職員が利用者の希望や意向・現在の状態を把握しやすいように工夫することで、サービスの提供に役立てる。	利用者ごとに生活・介護への願いや要望、嬉しいことや楽しいこと、不安なことや悲しいことなどの気持ちや思いを一枚のシートに集約することで、利用者についての情報を把握しやすくする。	6ヶ月
2	5	町担当者とは運営推進会議などを通じて良好な関係が保たれており、また他のグループホームとの交流も始まった。 ただ、行政を中心としたグループホーム連絡協議会は現在のところ存在しない。	グループホーム連絡協議会を立ち上げようという機運作りに貢献する。	他のグループホームとの交流を積極的に図る。特に研修や勉強会の共同開催、情報の交換や共有を図るなど、連携を取ることによって生まれるメリットを関係者が感じることができる機会を設ける。	24ヶ月
3	8	成年後見制度を利用されている利用者がおり、職員も制度について理解しているが、家族などに対して特に制度を紹介したり利用を促すことまでは行っていない。	グループホーム玄関入口に制度に関するパンフレットを設置するとともに、制度についての知識を身に付け、お尋ねがあった場合には説明できるようにする。	成年後見制度や成年後見登記、日常生活自立支援事業に関するパンフレットを玄関に設置する。 スタッフ会議の際に、制度について勉強する時間を設ける。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。